



# 図書館 めくるくん通信

図書館 ☎ 69・3706

## 夏休みは図書館へ！

図書館では夏休み宿題応援窓口（調べ学習教室）を設けて読書感想文の本選びや宿題で使える資料を探してお手伝いします。

とき 7月21日(土)～  
8月19日(日)

午前10時～正午、  
午後1時～4時



## 図書館に入った本

毎月たくさんの本やCDが入るよ！  
一部を紹介するね♪



『未来の扉をひらく  
偉人のことば』



和田 孫博／監修 新星出版社  
100人の偉人たちが残した  
名言をマンガを交えて紹介。



『にゃん！ 鈴江藩江戸屋敷見聞帳』  
あさの あつこ／著 白泉社  
『恋女房 新・秋山久蔵御用控1』  
藤井 邦夫／著 文藝春秋



『目がどんどんよくなる世界の名画  
1日1回見るだけ』  
若桜木 虔／著 青春出版社



『朝つめるだけ！  
作りおきのお弁当380 決定版』  
舘野 鏡子／著 新星出版社  
『白飯最高おかず うまさ全開！101品』  
堤 人美／料理 成美堂出版



『古希に乾杯！ヨレヨレ人生も、また楽し』  
弘兼 憲史／著

※当館製作。ダイジー図書は、本を読むのが困難な方のための録音図書です。

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時は  
お気軽に職員にお尋ねください。

## 副館長

# 読む



# 水族館



館長 小林龍二

竹島水族館  
☎ 68・2059

## ■忙しい副館長

会長には副会長、村長には副村長、大将には副将など、世の中には長を支える重要なポジションがあるが、竹島水族館の副館長は私と同じ年の戸館真人という人物がやっています。

副〇〇というのと、汗をかきつつ黙って花壇の手入れをして静かに校長の座の奪取を狙う教頭先生という気配・印象がありタダナラヌ感があるのですが、それは単なる私の偏見。竹島水族館の副館長は

## ■副館長の仕事

竹島水族館では館長も副館長も生き物の担当を持っていて副館長は深海生物の飼育と研究を担って

毎日かなり忙しく動き回っています。毎日いったい何をやっているのか。とイスに座らせて聞いていただきます。「いや、特に何というほどのことはない」と言う。しかし毎日忙しそうで、たまに立ち止まり虚空を見つめてため息をついたりしている。様子をうかがいつつ「忙しそうだね」と言うと「アンタが忙しくさせとるからだ」とオコルんだな。

## ■館長誕生秘話

私に「館長になってほしい、なるべきだ」と言ったのは副館長ただ一人です。二人でこの水族館をもっとよ

おり、普段から作業着に長靴です。他にお土産商品の仕入れ、総務の補助、後進の指導および小言を言っている。雑誌関連の広報、コラムの連載も2つ持っている。私が困ったときまず相談するのが副館長だ。私が暴走した時止めるのも副館長。部下たちがヘマを犯すとまず怒るのが副館長で、それでもダメな時は私がトドメの激怒を下す。したがってよく怒るのは副館長なのだが普段は明るくて陽気で話上手なので、最悪の事態の時にたまにしか怒らない私よりも部下に好かれて人気な気がして悔しい。

くしよう」と誓いあったのが3年前。はたして館長になるべきか。そんな器か。さまざまに相談しました。結局最終的に館長になるべきだ！と強く望んだのは副館長と水族館プロデューサーの中村元さんの二人だけ。しかし中村さんは、「竹島は誰が館長をやってもあれは無理だからお前がやって派手に失敗して終止符を打てば逆に歴史に名を残せるぞ、当たって砕けるだ」と失敗期待の応援でとても楽しそうな顔をしていた。ヒドイ人だあの人は。

副館長の甚大なる支えにより竹島水族館は滅びずに現在のところ順調に成長しています。副館長とは今後支え合い仲良くやっていこうと思っておるしだいでもあります。